

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、学校保健法により毎学年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、児童、生徒及び幼児の発育及び健康状態を明らかにして、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査事項

児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）及び健康状態（疾病異常）

3 調査の範囲

小学校、中学校、高等学校及び幼稚園のうち、文部大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）

4 調査対象

（１）小学校・中学校

調査実施校に指定された学校の児童・生徒の一部

（２）高等学校

調査実施校に指定された生徒の一部

ただし、次に掲げる生徒は調査対象者から除く

（ア）全日制課程及び定時制課程に在籍する満１８歳以上（平成１１年４月１日現在の満年齢）の生徒

（イ）通信制課程の生徒

（３）幼稚園

調査実施校に指定された幼稚園の５歳児（平成１１年４月１日現在の満年齢）の一部

5 学校種類別学校総数、生徒等総数、調査実施校数等

区 分	学校総数	幼児・児童 生徒総数	調 査 実 施 校 数	発育状態調査 対 象 者 数	健康状態調査 対 象 学 級 数
幼 稚 園	530	69,109	35	1,375	70
小 学 校	795	303,529	60	5,704	360
中 学 校	379	177,796	40	4,690	240
高 等 学 校	186	175,528	60	2,670	180

* 学校総数及び幼児・児童・生徒総数は平成１１年度学校基本調査結果速報（福岡県企画振興部調査統計課）による。

6 調査の期日

平成11年4月1日から6月30日までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査

利用上の注意

- (1) 年齢は、平成11年4月1日現在の満年齢である。
- (2) 被患率の計算（各項目の疾病・異常該当者数 / 各項目の受検者数）× 100
小数点以下第3位を四捨五入して小数点第2位までの数値を求めた。
- (3) この結果数値は、速報であるため後日文部省から公表される確定数値と相違することがある。

調査結果の概要 (発育状態調査)

(1) 身長

福岡県における男子の身長は、5歳110.7cm、11歳で144.8cm、14歳で165.3cm、17歳で170.1cmとなっており、7歳から9歳、11歳、13歳から15歳の各年齢で前年度より伸びている。

女子の身長は、5歳で110.0cm、11歳で146.7m、14歳で156.4cm、17歳で157.8cmとなっており、11歳、12歳、16歳及び17歳の各年齢で前年度より伸びている。

また、男女を比較すると、10歳から12歳の間の各年齢で、女子の身長が男子の身長を上回っている。

平成11年度の身長を30年前の昭和44年度(親の世代)と比べると、男子で最も差のある年齢は13歳で、6.7cm親の世代より高い。この13歳の身長は、親の世代では14歳にほぼ相当する。

女子では、最も差のある年齢は11歳で、5.4cm親の世代より高い。この11歳の身長は親の世代では12歳にほぼ相当する。

各年齢間の身長差は、男子では、12歳と13歳の間(8.1cm)が最も大きく、16歳と17歳の間(1.0cm)が最も小さい。親の世代においても12歳から13歳の間(7.5cm)が最も大きい。親の世代と比較すると、13歳以下でほとんどの各年齢間で、親の世代より各年齢間の身長差が大きい。

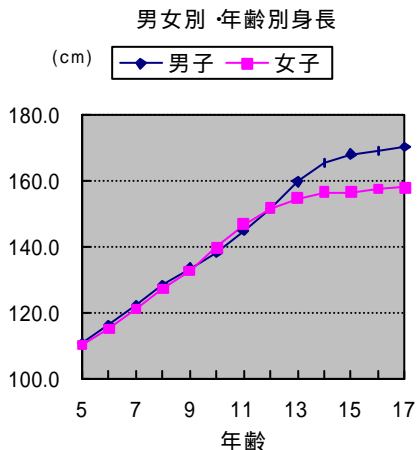
女子では、各年齢間の身長差は9歳と10歳の間(7.3cm)が最も大きく、14歳と15歳の間及び16歳と17歳の間(各0.3cm)が最も小さい。親の世代においても、9歳と10歳の間(6.6cm)が最も大きい。11歳以下の各年齢間で、親の世代より各年齢間の身長差が大きい。

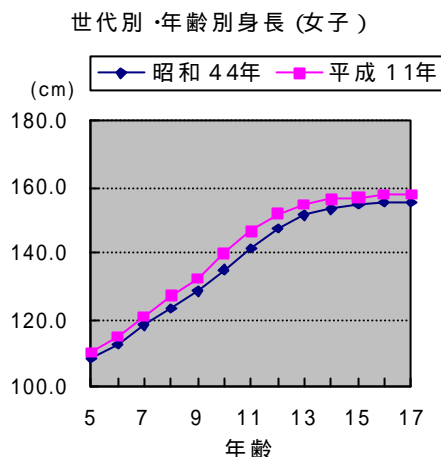
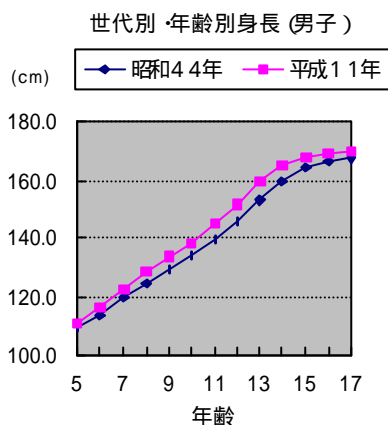
男子の身長(平成11年度)

	福岡県	全国
年齢	cm	cm
5歳	110.7	110.8
6歳	116.3	116.6
7歳	122.0	122.4
8歳	128.2	128.0
9歳	133.7	133.5
10歳	138.0	139.1
11歳	144.8	145.3
12歳	151.7	152.7
13歳	159.8	160.0
14歳	165.3	165.5
15歳	168.0	168.5
16歳	169.1	170.2
17歳	170.1	170.9

女子の身長(平成11年度)

	福岡県	全国
年齢	cm	cm
5歳	110.0	109.9
6歳	115.1	115.8
7歳	121.0	121.6
8歳	127.3	127.4
9歳	132.7	133.5
10歳	140.0	140.3
11歳	146.7	147.1
12歳	151.9	152.2
13歳	154.7	155.1
14歳	156.4	156.7
15歳	156.7	157.3
16歳	157.5	157.8
17歳	157.8	158.1





(2) 体重

福岡県における男子の体重は、5歳で19.3kg、11歳で39.2kg、14歳で55.1kg、17歳で61.8kgとなっており、5歳から9歳、11歳、12歳、14歳及び15歳の各年齢で前年度を上回っている。

女子の体重は、5歳で18.8kg、11歳で39.5kg、14歳で50.0kg、17歳で52.4kgとなっており、5歳、7歳、12歳、14歳及び15歳の各年齢で前年度を上回っている。

また、男女を比較すると、10歳から12歳の間の各年齢で、女子の体重が男子の体重を上回っている。

平成11年度の体重を30年前の昭和44年度(親の世代)と比べると最も差のある年齢は13歳と14歳で、親の世代より6.6kg重い。

この13歳及び14歳の体重は、それぞれ親の世代では14歳及び16歳にほぼ相当する。

女子では、最も差のある年齢は11歳で、5.1kg親の世代より重い。この11歳の体重は親の世代では12歳に相当する。

各年齢間の体重差は、男子では、13歳と14歳の間(5.8kg)が最も大きく、15歳と16歳の間(1.3kg)が最も小さい。親の世代においても13歳と14歳の間(5.8kg)が最も大きい。親の世代と比較すると13歳以下のほとんどの各年齢間で、親の世代より各年齢間の体重差が大きい。

女子では、各年齢間の体重差は、10歳と11歳の間(5.0kg)が最も大きく、16歳と17歳の間(0.0kg)が最も小さい。親の世代においては、11歳から12歳の間(5.1kg)が最も大きい。

男子の体重(平成11年度)

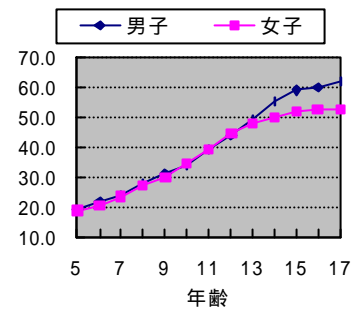
年齢	福岡県	全国
	kg	kg
5歳	19.3	19.2
6歳	21.5	21.7
7歳	24.0	24.4
8歳	27.8	27.7
9歳	31.3	31.2
10歳	33.8	35.1
11歳	39.2	39.3
12歳	43.8	45.1
13歳	49.3	50.2
14歳	55.1	55.3
15歳	58.7	59.3
16歳	60.0	61.1
17歳	61.8	62.4

女子の体重(平成11年度)

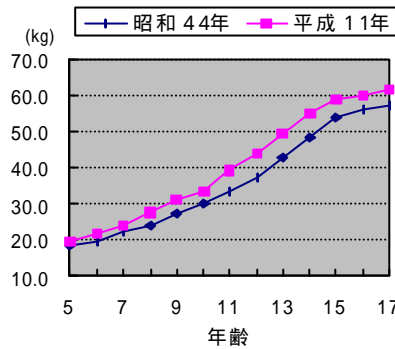
年齢	福岡県	全国
	kg	kg
5歳	18.8	18.8
6歳	20.9	21.3
7歳	23.7	23.8
8歳	27.1	27.0
9歳	30.1	30.7
10歳	34.5	34.9
11歳	39.5	40.0
12歳	44.2	45.1
13歳	47.5	48.2
14歳	50.0	50.7
15歳	51.7	52.2
16歳	52.4	53.1
17歳	52.4	53.1

各年齢間の体重差が最大となる時期は、親の世代よりも1年早くなっており、11歳以下の各年齢間で、親の世代より各年齢間の体重差が大きい。

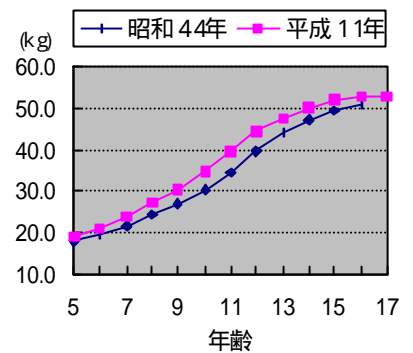
男女別・年齢別体重



世代別・年齢別体重 (男子)



世代別・年齢別体重 (女子)



(3) 座高

福岡県における男子の座高は、5歳で62.3cm、11歳で77.8cm、14歳で87.9cm、17歳で90.8cmとなっており、8歳、9歳、13歳及び14歳の各年齢で前年度を上回っている。

女子の座高は、5歳で61.8cm、11歳で79.3cm、14歳で84.6cm、17歳で85.2cmとなっており、12歳及び14歳の各年齢で前年度を上回っている。

平成11年度の座高を30年前の昭和44年度(親の世代)と比較すると、男子で最も差のある年齢は13歳で、3.1cm親の世代より高い。

この13歳の座高は親の世代では14歳にほぼ相当する。

女子では、最も差のある年齢は10歳と11歳で2.4cm親の世代より高い。この10歳及び11歳の座高は、それぞれ親の世代では11歳及び12歳にほぼ相当する。

男子の座高(平成11年度)

年齢	男子の座高(平成11年度)	
	福岡県	全国
5歳	62.3	62.2
6歳	64.8	65.0
7歳	67.5	67.7
8歳	70.4	70.4
9歳	72.9	72.8
10歳	74.9	75.2
11歳	77.8	78.0
12歳	81.0	81.5
13歳	84.9	85.0
14歳	87.9	88.0
15歳	89.6	89.8
16歳	90.3	90.8
17歳	90.8	91.3

各年齢間の座高差は、男子では、12歳と13歳の間(3.9cm)が最も大きく、16歳と17歳の間(0.5cm)が最も小さい。親の世代では、11歳と12歳の間及び13歳から14歳の間(各3.7cm)が最も大きい。各年齢間の座高差が最大となる時期は、親の世代よりも1年早くなっているが、13歳以上のほとんどの各年齢間で、親の世代より各年齢間の座高差が小さい。

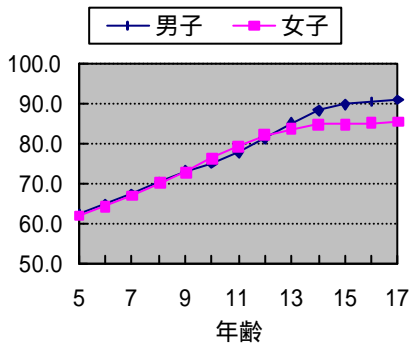
女子では、各年齢間の座高差は9歳と10歳の間(3.6cm)が最も大きく、14歳と15歳の間、15歳と16歳の間及び16歳と17歳の間(各0.2cm)が最も小さい。親の世代では11歳から12歳の間(3.6cm)が最も大きく、各年齢間の座高差が最大となる時期は、親の世代より2年早くなっているが、11歳以上の各年齢間では親の世代より、各年齢間の座高差は小さい。

女子の座高(平成11年度)

年齢	福岡県	全国
	cm	cm
5歳	61.8	61.6
6歳	64.3	64.7
7歳	67.1	67.4
8歳	70.1	70.1
9歳	72.6	72.9
10歳	76.2	76.1
11歳	79.3	79.5
12歳	82.0	82.3
13歳	83.5	83.8
14歳	84.6	84.7
15歳	84.8	85.1
16歳	85.0	85.3
17歳	85.2	85.3

足の長さ(身長から座高を引いたもの)を、30年前の昭和44年度(親の世代)と比べると、親の世代より17歳で、男子は1.8cm、女子は1.9cm長い。足の長さの身長に占める割合を親の世代と比較すると、男女とも親の世代を上回っている。

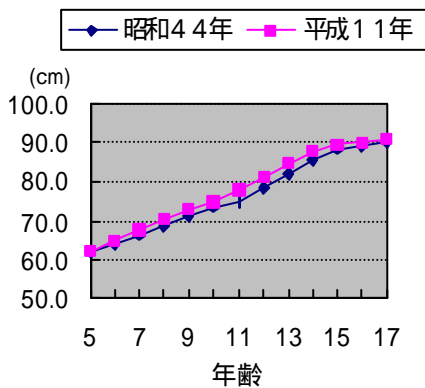
男女別・年齢別座高



身長に占める足の長さの割合(%)

区分	(17歳)	
	男子	女子
昭和44年度	46.3	45.5
平成11年度	46.6	46.0
差	0.4	0.5

世代別・年齢別座高(男子)



世代別・年齢別座高(女子)

